

【児童への話】

校長先生は5月の初めに、5月である「皐月（さつき）」についてのお話をしました。先週から始まった6月は、古い呼び方で「水無月（みなづき）」といいます。このように「水の無い月」と書くのですが、みなづきの「な」は「～の」を言い換えた言葉なので、正しくは「水の月」という意味になります。これからは、水の月と言われるように、雨が多い「梅雨（つゆ）」の時期に入ります。今年は平年に比べて、雨の量が多く、気温が高めになるので、ジメジメ、ムシムシした日が続きそうです。汗をふくハンカチを欠かさず、健康で清潔に過ごせるようにしてくださいね。

今週の水曜日から、6年生は箱根移動教室で学校を留守にします。水曜日からは5年生を中心に、安全で落ち着いた、楽しい学校生活を過ごしてください。

それでは、今日はこれから『よい歯の表彰』を行います。学校の歯医者さんの島田先生からのお話をいただきます。皆さんの健康に関するお話です。しっかり聞きましょう。

【本講話について】

梅雨入りや気温などで使われる『平年』という言葉ですが、これは過去30年間のデータの平均を表す言葉です。今は1991年から2020年までのデータを使っていて、2021年から2030年までの10年間は「平年」として定められた値は変わらず使われ続けることとなります。ちなみに平年の関東の梅雨入りは6月7日だそうです。生活に根差した数学（統計学）の活用です。

私の教員としての専門は、算数・数学教育です。数学は人間の生活を便利にするために生まれ、発展してきた学問です。様々な場面で数学の有用性を感じさせることで、理数教育に親しむ番町小の子どもたちを育てていきます。